



大草小学校だより

第22号

令和6年4月8日 校長 山口 隆

令和6年度スタート！

校長2年目となりました山口隆です。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。本野で生まれ育った自分にとって、とても懐かしい雰囲気のある大草小で、元気な子どもたちと学校づくりができることを大変嬉しく思います。この学校だよりも昨年度からの継続番号としています。ホームページにも掲載していきますので、そちらの方もご覧ください。

昨年度の本校スローガンは「大草のよさ 新発見・再発見」としておりました。大草のことについてたくさん新発見がありました。子どもたちも知っているつもりで中々知らない大草のことについて学び、再発見する場面が多くありました。しかし、大草という地域についてはよさを知りつつあるのに、「自分自身のよさ」についてははっきり言えない子が多くいました。3学期の修了式で、「自分のいいところを3つ言えた人から座ってごらん」と言っても、中々座れないのです。そこで、周りの人と、互いのいいところを言い合う活動を仕組んだ後、再び先の問いかけをしました。するとほとんどの子が次々に座っていきました。自分のことは見えているようで見えていないのが人間です。だからこそ、学校に来てみんなで学び合うこと、関わり合うことが大切なのだと再確認しました。子どもたちには自分のよさについて自信をもってほしいと思います。

そこで、今年度のスローガンを「一人ひとりが主人公 ～学校はみんなでつくる～」としました。

令和6年度大草小学校スローガン

「一人ひとりが主人公～学校はみんなでつくる～」

- 主人公とは、人に命令されて動くのではなく、自分で考えて行動することができる人
- 主人公とは、自分の目と耳とからだで聞き、話すことのできる人
- 主人公とは、時間に流されるのではなく、スケジュール管理ができる人
- 主人公とは、友達の苦しみや優しさが分かる人
- 主人公とは、友達をばかにすることなく、自分はダメだと諦めるのでもなく、自分自身に誇りと自信を持つことができる人。
- 主人公とは、難しい仕事にも全力で立ち向かい、明日への夢とロマンを持ち続ける人

始業式でドラえものの道具には、実現しているものもあることを紹介し、「こんな学校にしたい」「あんなこといいなできたらいいな」という夢とロマンをもつことの大切さを話しました。一人ひとりが主人公として輝き、明日も来なくなる学校をみんなで築いていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞご協力のほどお願いいたします。